

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年1月5日

事業所名 すだち平田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・学習スペースと遊ぶスペースを分けている。 ・集中して課題のできるスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		・駐車場から施設内までバリアフリーになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		・担当職員がおり、流れなど共有している。 ・取り組みは全職員で行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		・アンケートをもとに会議を行い、業務改善を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		・ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・研修には1名以上が参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		・利用児・保護者の意向をふまえた上で作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・統一のアセスメントシートがある。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・活動プログラムを複数の職員で作成している。 ・担当職員を中心に話し合いながら作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・動き・手先・野外等バランスを考えて作成している。 ・毎月3つ以上は新しい活動を組み込んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		・活動時間を考えて変化させている。 ・平日・短縮・学校休校日で内容を変えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		・個人課題を設定して作成をすることもある。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	・気になることは話し合い、内容の確認を行っている。 ・毎日話し合うことはない。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		・気になることは話し合い、対応方法を統一できるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・毎日利用児童の様子を記録している。 ・対応方法を職員で話し合っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		・モニタリングは複数の職員の意見を聞いて作成し、利用頻度によってモニタリング期間を変えている。 ・少なくとも6か月毎に見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		・利用計画は学校に提出している。 ・電話・FAX・送迎時に行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	3	・連絡体制が取れるよう配慮している。 ・現在必要とする利用児童は在籍していない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		・相談支援員から情報をいただいている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		・必要に応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		・研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8		・年2回計画をして地域の学童クラブと交流する機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8		・毎回参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・送迎時に児童の様子を伝えている。 ・電話や対面などで行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8		・相談に応じてその都度行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		・年1回保護者会を開催している。(令和5年度は9月に開催)	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・記録にまとめ、今後の対応方法を伝えている。 ・苦情があった際は記録を残し、職員間で共有している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・毎月数回ブログにて公開している。	
	35	個人情報に十分注意している	8		・鍵付きの書庫で管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・言葉だけでなくマークやシート、写真などを児童に合わせて使っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		・地域の方の畑を借りて体験会の活動をしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく入社した職員にはその都度、保護者には契約時に周知してもらっている。</li> </ul>	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回防災訓練を行っている。</li> </ul>	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修には毎年参加している。</li> <li>・年1回職員に対するアンケートを行い、それをもとに委員会を開催している。</li> </ul>	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の必要のある児童はいない。</li> <li>・基準を明確にしており、委員会で議論した上で実施するようになっている。</li> </ul>	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示して周知できるようにしている。</li> </ul>	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事案が発声したら即作成し、対応策を決めている。</li> <li>・全職員に周知され共有している。</li> </ul>	